

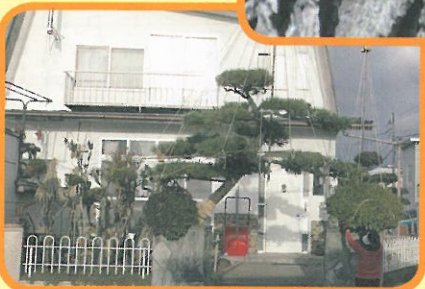
はこだてシルバーだより



栄田 武志会員 小林 邦子会員



写真同好会作品



佐々木 紀代彦会員



林 英男会員 阿久津 貞夫会員

平成 28 年 12 月号



冬号

No.109

● “手”が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします！

函館市若松町33番6号（函館市総合福祉センター 2階）

電話（0138）26-3555

FAX（0138）23-7531

E-mail：hakosc@sjc.ne.jp

HP：http://www.sjc.ne.jp/hakosc/

「第三回理事会」報告 十月二十六日開催

★報告事項

- (1) 正特会員及び賛助会員の入会について (平成28年7月～9月)
- (2) 事業運営状況報告について (平成28年7月～9月)

① 会務報告

② 事業実施状況報告

- (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
- (4) 函館市への支援要望について
- (5) 旅行会について
- (6) シルバー人材センター事業普及啓発月間について

★協議事項

- ① 高齢者雇用就業パネル展
- ② 第二回清掃奉仕活動
- ③ 街頭啓発活動
- ④ 地域班地区懇談会

- (1) 平成二十九年度函館市への補助金要望(案)について
- (2) 長期就業会員募集要項(案)について
- (3) 役員による就業開拓事業(案)について

★その他

- (1) 個人番号の提出について

以上、報告事項、協議事項を協議し承認されました。

主な内容は次のとおりです。

◎報告事項

● 九月末現在の正会員は八百九十七名、賛助会員は五十団体である。十月末には新規加入も含め五十三団体となる予定である。

● 事故発生状況は十月二十五日現在、傷害事故二件、賠償事故八件、自動車運転事故七件の計十七件である。道シ連から無災害記録表が届き、事務局入口左側に設置してある。

● 九月末までの事業高は前年度比九十三・九%で事業高減少の要因としては長期的な剪定会員不足による受注制限、運転業務の派遣への移行等があげられる。その中において機械除草が事業高を上げている。派遣が伸びることにより事業高の減少が抑えられている状況である。

● サン・リフレ函館の上半期の利用者数等は昨年より減っている。函館アリーナの利用が要因と思われる。

● 函館市へ、高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組むシルバー人材センターへの支援、事業推進のために必要な補助金、委託費と公共事業発注の確保についてお願いをした。

● 「旅行会」は三十三名の参加で、とべ温泉郷「光林荘」へ出かけた。(P6に記載)

● 「高齢者雇用就業パネル展」(P4)は千八十七名の市民が来場。「清掃奉仕活動」(P5)は百六十名が参加した。奉仕活動終了後役員による「街頭啓発活動」(P5)では三ヶ所でチラシなどの配布を行った。今年度初めて一ヶ所で開催した「地域班地区懇談会」(P3)では開催時間、会場までの距離、派遣の業務内容、行事の見直しなどについて意見や質問があった。

◎協議事項

● 平成二十九年度函館市への補助金要望については、国の補助金予算概要と同額を要望した。

● 長期就業会員募集に関し、平成二十九年度は五十五名の募集予定である。申込用紙について若干、配列や表現を変えた部分はあるが、大きく内容は変わっていない。

● 役員による就業開拓事業は十二月七日から十二日までの間に企業訪問を行う。

◎その他

● 個人番号の提出について対象は報酬で支給されている理事・監事及び派遣就業で一度でも給与の支給があった会員。

就業委員会報告

第一回就業委員会は、十月十三日(木)に開催し、①委嘱状交付(五十嵐事務局長分) ②長期就業は正会員について③募集要領についての三点を協議し、承認されました。内容は次のとおりです。

・平成二十九年度の募集人数は、男性四十一名、女性十一名、性別なし三名の計五十五名となる。
・募集要領等は大きな変更はないが、昨年就業先決定後辞退する会員の理由が「第二希望」であったからと言うことが多かったため、「第二希望なし」との文言を追加した。

・会員への周知は、十月末の地域班で要領等を配付する。
・募集期間は、十一月二十二日(火)を締切りとし、十二月七日(水)に説明会を開催、十三日(火)～十五日(木)で面接会を実施する予定である。
・結果については、一月中旬に第二回就業委員会にて協議、一月下旬の理事会で承認を受け、二月上旬に会員に対して結果を配付する。

● 就業委員会の検討結果については、十月二十六日(水)開催の第三回理事会においても承認されました。

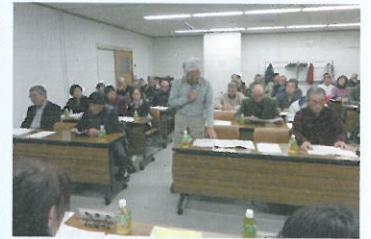
地区懇談会

例年、四ヶ所で実施して来た地区懇談会を今年度から会場を三ヶ所に再編の上、一年度に二ヶ所、三年をかけてひと回りとすることに変更し、十月二十一日(金)、函館市総合福祉センターにて五十八名の参加のもと開催されました。

進行は例年同会場で実施している一〇五地区の地区長の中より第四地区の木川地区長にお願いし、五十嵐事務局長の挨拶に続き、地区長、事務局担当職員の紹介があり懇談に入りました。



懇談内容及び会員の意見要望については、①地区懇談会の時間帯を昼間にすれば参加が増えるのではないかと。②会員が希望する仕事に対してニーズに答えているかの意見がありました。事務局からの回答等については、既に地域班を通じて全会員に配付しておりますので資料をご覧ください。よろしくお願いいたします。



懇談会は会員のみなさんと事務局が直接意見を交わすことのできる機会でもあります。会員の減少、除草や剪定会員の高齢化等による一部職種受注の制限などセンターがかかえている様々な問題に直面しておりますが会員の皆さんの貴重なご意見を基に今後の運営に結びつけたいと考えています。

入会三年～五年度経過会員講習及び意見交換会

今年度より、入会三年～五年度経過をした会員を対象に講習及び意見交換会を実施し、対象者百九十名中九十名が、十一月二十一日(月)、函館市勤労者総合福祉センターにて開催した第一回目に参加しました。



講習内容は、健康管理講座として、「高齢者の脱水と水分補給について」と題し、(株)大塚製薬

工場の浦上耕二氏を講師に招き、「熱中症予防及びこれからの時期流行る、風邪やノロウイルス等による脱水対処方法等について、こまめな水分補給が必要ではあるが、脱水状態の時は水やお茶だけでは改善しないため、経口補水液が有効である。」旨の話がなされました。その後、会員のころえとして事務局より、センターのしくみ、就業での注意及びシルバー保険等について話をし、参加会員より、「長期



就業に何故年齢制限があるのか」との質問があり、現在長期就業は、発注者からの要望等があり、自動車運転業務が七十二歳、それ以外の職種については制度の見直しをし、七十二歳から七十五歳迄年齢を引き上げた経過を説明しました。

第二回目は二月十七日(金)となっており、対象者は必ずご参加ください。



賛助会員の皆様 ありがとうございます

賛助会員の皆様には、シルバー人材センター事業に深いご理解を賜り心からお礼申し上げます。今後とも、シルバー事業の発展のため、種々ご指導、ご協力をお願いいたします。

賛助会員 五十三団体
平成二十八年十一月末現在
(関連記事 秋号に掲載有)

団 体 名	
公益財団法人杉崎福祉財団	小野自動車工業(株)
(有)ニッコー事務機	(株)サンテックス
新規加入	(株)花びしホテル

平成28年9月17日～11月末現在 (敬称略・順不同)

安全・適正就業委員会「一ナー

安全巡回パトロール実施報告

今年度の安全巡回パトロールを十月四日、七日、十一日に実施しました。今年度は、特に事故が多かった機械除草の現場を重点的に、その他、会員不足になっている、植木剪定の就業現場を巡回しました。

◎パトロールの実施結果は次のとおりです。

★植木剪定(一ヶ所)

・就業現場は、高い木が無く、シルバーに適した安全な現場だった。
・オンコの刈り込み作業中で、刈り込んだ葉が地面に落ちて散らかるのを防ぐため、目の細かいネットを敷いて作業しており、後始末がきれいに出来るよう配慮されていた。また、風が強かったため、近所に迷惑をかけるないように気を使っていた。

・作業に必要な道具はそろっており、手入れもきちんとされていたが、刃先



が尖りすぎていて危険ではないかと思われるものもあったので、使用の際は注意が必要である。

★機械除草(四ヶ所)

・作業していた会員は、一生懸命取り組んでいた。

・刈払い作業をしている会員と飛散防止ネットを持って

いる会員の意思疎通がうまくいっていない時は、飛散防止ネットを使用しているも、必ずしも飛散方向に対して、うまくカバー出来てないように思われた。また、飛散防止ネットを使用せずに作業していた会員がいた。

・団地での作業前には、住人に対して、事前に車両の移動をお願いしているとのことだったが、移動してない車両も多くあり、作業場所と車両との間隔が狭く、事故の危険性が高まると思った。



平成二十八年 安全標語 最優秀作品

「事故も怪我也慣れたころにやってくる 今一度安全確認」小嶋 隆之 会員

高齢者雇用就業パネル展

十月の「シルバー人材センター事業普及啓発月間」に合わせて「高齢者雇用就業パネル展」が、十月十一日から四日間、市役所一階市民ホールで開催されました。四日間の来場者数は千八百七十七名(昨年は五日間で千四百五十六名)で、多くの市民の方々が訪れ、数々の作品を熱心に鑑賞されました。



展示スペースも広くなり、作品としては、絵画、書道、手工芸、写真同好会員が撮影した写真など百数十点が展示され、どれもすばらしい作品ばかりでした。その他、水彩画教室受講生による



る作品、サンリフレ函館の文化教養講座の受講生による手編み作品、書道作品、切り絵作品など目を見張るような作品ばかりでした。



さらに、当センターの事業をパネルで紹介、会員の就業の様子や市民とのかかわりの様子などを写真で紹介しました。来場された方のパネル展への関心は高かったようです。今回も北海道新聞社、函館新聞社が取材に訪れ、記事が掲載されたことも相乗効果となり、たくさんの方々に足を運んでいただきました。今回のパネル展に出品、ご協力をいただきました会員、講座関係者の皆様ありがとうございました。



シルバーの幟を掲げて清掃奉仕活動

10月15日(土)
160名参加



函館駅周辺
(47名参加)

「シルバーの日」の10月15日、恒例の秋の清掃奉仕活動を市内5ヶ所で実施いたしました。回を重ねるごとにゴミが少なくなっている函館の街に感心しながら、そして気心の知れた仲間と笑顔で安全に気を付けながら、シルバーの仕事振りさながらに小さなゴミまで見落とさず拾って、秋晴れのもと心地良い汗を流しました。皆さんお疲れ様でした！



五稜郭電停周辺
(19名参加)



鍛神小学校周辺
(49名参加)



亀田中学校周辺
(15名参加)



函館アリーナ・市民会館周辺
(30名参加)



5

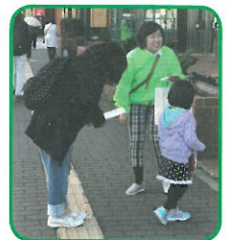
街頭啓発活動実施

～シルバー人材センターをPR～

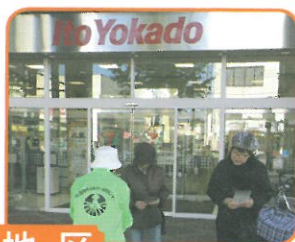
十月十五日(土)、シルバー人材センター会員による清掃奉仕活動終了後、役員総勢十五名が函館駅前・五稜郭・美原の各地区で街頭啓発活動を実施しました。役職員はセンター宣伝用のジャンパーを着用し、同じく宣伝用のぼりを立て目印としました。

センターの事業案内、受注可能な仕事内容、会員募集、十一月から始まる刃物研磨の実施を内容としたチラシ、ティッシュを道行く

人に声掛けをして手渡ししました。受け取った人からは、センターに頼み事がある人、刃物研磨の内容について質問する人等会話が有り、有効な啓発活動でした。



美原地区



五稜郭地区



函館駅前地区

会員厚生部会コーナー

おとべ温泉郷 光林荘バスの旅

天候に恵まれた九月二十六日(月)〜二十七日(火)の二日間、会員の福利厚生と親睦を目的として参加者三十三名による、乙部町周辺への旅を実施しました。往復の乗り物は、社会福祉協議会から借りたバスで、運転は、平田会員が行いました。



次に乙部町に入り、町の施設見学、パークゴルフ、温泉と三班に分かれひとときを過ごしました。



で昼食のあと

厚沢部町へ向かい、喜多里焼酎を生産する専用施設と障害者が働いているあすなるパンの工場を見学しました。

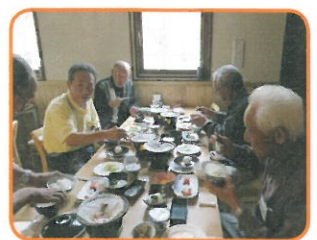


この後、宿泊先の光林荘で、午後六時から懇親会が開かれ、西村厚生部会幹事の司会



で始まり、渡部理事長の挨拶、夕食、余興と続きました。余興は、得意の舞踊や自慢のノドでカラオケを披露し、ペンライトを持ち応援する人もおり賑やかな一夜となりました。

◆二日目◆
九時三十分光林荘を出発、道の駅「あつさぶ」上の国もんじゅ「みそぎの郷きこない」で休憩し景色を見たり、買い物を楽しみました。



この後、平田会員の計らいで知内町近辺の場所に移動、バスから降りて北海道新幹線が走行しているところ



を間近に見ることができました。午後一時少し前に事故もなく、無事センターへ戻りました。

今回の旅は、盛りだくさんの内容で参加者は喜んでおりました。

新年懇親会

平成二十九年新年懇親会を次のとおり開催いたします。詳細は地域班を通して案内いたしますのでどうぞお問い合わせのうえご参加願います。

日時 平成二十九年一月十八日(水)

午後五時より

会場 花びしホテル

(函館市湯川町一十六ー十八)

会費 五, 五〇〇円

※会場と時間はお間違えのないようお願いいたします。

会員の集い開催!!

十一月二十二日(火)、湯の浜ホテルで「会員の集い」が、七十一名の参加により開催されました。

西村厚生部会幹事が司会を担当し、渡部理事長の開会の挨拶で始まりました。

まず、喜寿の八名の方に祝いとして記念品が渡され、続いて福田厚生部会幹事の「いただきます」の発声で



喜寿のお祝い



食事となりました。お弁当を食



べながら会員同士が歓談した後、第一部のカラオケに移り、得意の歌を披露しました。

次にビンゴゲームを行いました。当てた方が賞品を手に喜び合



第二部は、

カラオケの他、民謡、舞踊が加わり、美声と艶やかな踊りに魅了されました。

この後、参加者の椅子の裏にラッキー賞と紙が貼ってあった該当者は、笑顔で商品



を受け取りま

した。第三部のカラオケでは、六名が歌った後、歌い馴れた渡部



理事長のトリで、余興を終了し、最後に三由厚生部会長の閉会の挨拶で、無事終了しました。

帰り際、ある参加者から「楽しいひとときを過ごした」と聞き、担当者としてうれしい限りで

した。参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



たい肥の販売について

今年も、刈り草を利用したたい肥を作りました。

六百袋、準備しておりますので、ご希望の方は、事務局へお申込みください。

なお、ご好評いただきました、腐葉土につきましては、今年度は、作っておりませんのでご了承ください。

1袋 (4kg) 200円



冬休みものづくり体験

一月六日と十二日に冬休み中の小学生を対象としたものづくり体験を開催いたしました。開催内容は、六日が「ペトボトルでプロペラ車を作ろう」、十二日が「紙筒を使って万華鏡を作ろう」です。お申し込みは先着順となりますので、お早めにお申し込みください。

道シ連 道南ブロック 会議開催

渡島・胆振・日高管内十一のシルバー人材センターで構成する道南ブロック会議が、去る十一月十七・十八日登別市で開催し、理事長・事務局長が出席しました。

当センターの渡部理事長の部長挨拶で始まり、道シ連の林事務局長から「シルバー人材センター事業の現況について」と題し、平成二十八年度上半期の請負・派遣事業実績、平成二十九年度予算概算要求、適正就業ガイドライン、北海道総務部法務・法人局の公益法人への立入検査の状況などについての説明がありました。

次に、各センターが抱えている課題や取組について意見交換が活発に行われ、大変有意義な会議となりました。

なお、道南ブロック職員研修は、一月二十六・二十七日苫小牧市で開催されます。



事務局職員の異動

◎退職 十月三十一日付

川守田 雅子(事務員)

◎採用 十一月一日付

川^{かわ}友^{とも}美(事務員)

地域班及び毛筆筆耕を担当しておりました川守田事務員が退職し、川事務員が採用になりました。慣れない仕事に戸惑い緊張しながらの日々ですが、笑顔絶やさず一生懸命頑張っておりますのでお声掛けをよろしく願います。

年末年始の休業期間と 履行確認書提出について

年末年始の営業は次のとおりです。

仕事納め 十二月二十八日(水)
休業期間 十二月二十九日(木)
 一月三日(火)
仕事始め 一月四日(水)
確認書締切日 一月四日(水)必着

十二月分の履行確認書は、郵送するか一月四日に持参するようお願いいたします。

◆配分金支払日◆

十一月分 十二月二十日(火)
十二月分 一月二十日(金)
 二月二十日(月)
 三月十七日(金)
※銀行口座の変更をした場合は速やかに事務局へ連絡願います。

謹んでお悔やみ
申し上げます。
申し上げます。

高橋 佳巳^{さん} (六十八歳)
5地区3班 10月28日

高野 悦造^{さん} (八十歳)
3地区4班 11月27日

つぶやき

毎年二月中旬から三月中旬は確定申告の期間である▼この申告前の一月下旬には町会を通して「確定申告に関する税務署からのお知らせ」のチラシが配られる▼そのチラシの裏面には、①公的年金等の収入金額が四百万円以下、②公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が二十万円以下、「①、②の両方に当てはまる方は、確定申告が不要です」と書かれている▼これは、年金受給者の申告手続きの負担を減らすために設けられた、「公的年金等に係る確定申告不要制度」といわれるものである▼しかし、不要と思つて申告しないと、公的年金から源泉徴収されている受給者は損をするかもしれないので、申告書を作成してみることをお勧めする▼所得税が還付されるかもしれないからである▼源泉徴収税額の計算では、社会保険料(国民健康保険料、介護保険料)、生命保険料、医療費等は控除しないのが普通であるから、源泉徴収税額が本来の所得税額より多くなっているかもしれないのである▼ちなみに私の場合、毎年確定申告をして一万数千円が還付されている。(山勝)